

オランダ事前キャンプ安全マニュアル2021 (ver 1)

<トライアスロン編>

(令和2年12月28日時点)

館山市

位置づけ

2021年のキャンプは、オランダトライアスロンチームが、2020東京オリンピックに参加するための事前キャンプである。

オリンピックは、国の威信をかけた最も大きな大会の一つであり、選手もこの大会に向け各地でトレーニングを積み、最終調整のために実施するキャンプである。

このため、新型コロナウイルス感染症予防対策に関して万全を期すとともに、できる限りストレスの無いリラックスした環境の中、選手が万全のコンディションで大会に臨めるようトレーニングを側面的にサポートする。

目的

館山市がこのマニュアルを作成することで、責任ある受入れ団体として、選手たちが期間中、安全かつ安心してトレーニングに打ち込める環境を提供することを目的とする。

チーム概要

オランダトライアスロンチーム：選手・コーチ

期間 2021年7月20日（火）～7月29日（木）：予定

トライアスロンコーチ Z

選手 A

B

C

（2019年キャンプと同様、選手・コーチ合わせて約10名程度）

宿泊先

契約後連絡する。（市内を予定）

練習場所

- ・館山市営50mプール（館山市宮城 192-2 0470-22-2239）
 - ・大賀海岸
 - ・フラワーライン～グリーンラインのモデルコース（別紙参照）
 - ・市営出野尾多目的広場（館山市出野尾 536-1）
 - ・千葉県立館山運動公園（館山市藤原 300 0470-28-1340）
 - ・房州カントリークラブ（館山市藤原 1128 0470-28-1211）
- （その他にもおよぶことが考えられる。）

期間中のトレーニングスケジュール（大会期間中の計画書に基づく）

※現時点では未定であるが、参考までに2019年に実施した事前キャンプでは以下のとおりである。（オランダが示したスケジュール）

2019	スイム（50mプール）		バイク	ラン
	期日	時間帯	時間	時間
8/ 8	16:30～18:30	120分		30分
8/ 9	16:30～18:30	120分	120分	45分
8/10	16:30～18:30	120分	120分	60分
8/11	—	—	—	30分
8/12	16:30～18:30	120分	90分	
8/13	9:00～11:00	120分		45分
計		480分 (8h)	330分 (5.5h)	210分 (3.5h)

- ・海でのトレーニングは、期間中1、2回程度予定しているが、日時は不明。（実施の有無は、前日又は当日に決まるとみられる。）
- ・バイク・ランの場所は未定。全員の団体行動よりも個人のコンディションに応じたメニューが考えられる。市としては、モデルコースの安全確認を行う。
- ・トレーニングの時間帯は示されていないが、日焼けを気にしており、早朝及び夕方に行うとみられる。
- ・スケジュールの変更が予想され、その都度変更し対応する。

※2019年は上記のとおりであるが、2021年本大会においては、事前キャンプ期間中の行動計画を提出することとなっており、ある程度固まったスケジュールが示されると考えられる。

受入体制

館山市スポーツ課を本部とし、全体トレーニング時は、市職員又は市が委託したチームアタッシュェを配置し、チームに帯同する。

本部の役割

本部は、市職員及びチームアタッシュェ等を配置し、新型コロナウイルス感染症予防対策をはじめ、事故・怪我等、チームの安全確保に努める。また、安房保健所、海上保安庁館山分室、千葉県、館山警察署、安房土木事務所、館山船形漁協協同組合、西岬漁業協同組合、安房消防、安房地域医療センター、ホテル等と情報を共有し、安全で円滑な事前キャンプ運営を図る。

帯同者の役割

帯同者は、本部、ホテルと連携し、トレーニング及び宿泊先に帯同し、チーム及び選手・コーチからの要望や質問などに対応し、安全かつ円滑なキャンプを支援する。また、緊急時において、速やかな誘導を促す。

コーチと連携し、トレーニングメニューやチーム全体の動きを把握する。

※50mプールでは、監視員とともにプールサイドから監視する。

※海では、コーチがシーカヤックで選手に帯同するので、海岸から監視する。

※バイク・ランでは、各選手に応じた練習が想定され、全員を監視することは不可能と考えられる。トレーニング中は、チーム及び選手・コーチからの要望に速やかに対応できるよう、必要に応じて宿泊先で待機又は選手・コーチに帯同する。

※チームの動きについて、適宜、本部に連絡する。

警備に係る帯同者の役割（警備会社の警備員は不要とする。）

警備に係る帯同者は、本部、ホテルと連携し、不審物又は不審者を警戒し、安全確保を行う。

※50mプールでは、プール周辺を巡回する。

※海では、海岸から監視するとともに、一般客には選手らに近付かないよう指導する。

※バイク・ランでは、モデルコースを把握し、トレーニング前に巡回し、安全確認を行い、状況を本部等に伝える。トレーニング中は、主なコースを巡回する。

※ホテルでは、不審者を警戒しパトロールを行う。

大賀海岸の使用について

- ・大賀海岸は海水浴場として開設されていない。海上保安庁館山分室、安房土木事務所管理課、館山船形漁協、西岬漁業に対しては、いずれも少人数で短時間、水泳をするものであり、各所が所管する手続きは不要。各機関に情報提供を行う。【本部対応】

ホテルでの安全対策

- ・ホテルが定めるマニュアルによる。

1 新型コロナウイルス感染症予防対策

手引き・感染予防対策マニュアル（ホストタウン等における選手受入れマニュアル作成の手引き等を参考に今後作成予定）

2 気象状況の把握・注意喚起

【トレーニング前の対応】

屋外競技であり、天気予報（気象庁が発表する訓練会場周辺の予報）について、本部は帯同者を通じて、前日夕方及び当日朝にチームに対して、情報提供を行う。海沿いは、予報風速よりも風が強いなどの地勢、気象の傾向等や発表されている注意報情報についてコーチに伝え、警報以上の気象情報が発表されたとき又は雷注意報（注1参照）が発表されたとき（以下「警報等」という。）は、トレーニングの中止を要請する。注意報発表中のトレーニング実施の判断は、チームに委ねる。

注意報等の種類

注意報	大雨，洪水，強風，波浪，高潮，雷，濃霧，乾燥，津波 ※光化学スモッグ，PM2.5（千葉県発表） （風雪，大雪，融雪，なだれ，低温，霜，着氷，着雪は，この時期の館山市では想定されない。）
警報	大雨（土砂災害，浸水害），洪水，暴風，波浪，高潮，津波（暴風雪，大雪は，この時期の館山市では想定されない。）
特別警報	大雨（土砂災害，浸水害），暴風，波浪，高潮，大津波警報（暴風雪，大雪は，この時期の館山市では想定されない。）

※地震，津波に関する注意報等に関する事項は別項に示す。

情報提供の内容【情報提供の方法については協議し決定する】

天気予報：〇〇月〇〇日（〇） 日出：〇〇：〇〇 日没：〇〇：〇〇

	9：00	12：00	15：00	18：00
天気				
気温				
湿度				
気圧				
風向				
風速				
降水確率				
降水量				
発令中の注意報				

※週間天気予報，警報発表の可能性等については，適宜，天候の推移を確認しつつ提供する。

<注1> 【雷の対応】

館山市では、2015年以降8月にもっとも多く発表された警報・注意報は、雷注意報（落雷等によって被害が予想される場合）である。毎年8月に10回以上発表され、延べ日数は10日以上（月の3分の1は発表されていた状態）になる。

しかし、実際に落雷があったことはなく、予見の注意報である。

キャンプ期間中に雷注意報が発表される可能性は極めて高いことから、現実的な対応として、本マニュアルでは、雷注意報を「雷注意報が発表され、雷音を確認した時点」と読み替えるものとする。

【地震・津波の対応】

地震の発生又は津波発生が予想される場合は、トレーニング中止を要請する。基準は下表のとおりとする。

	トレーニングの中止を要請する状況
地震	1 管内市町で震度5弱以上を観測した場合 2 南海トラフ地震に関する情報（臨時を含む。）が発表された場合
津波	1 津波注意報、津波警報、大津波警報が発表された場合

※津波は、「千葉県内房」及び「千葉県九十九里・外房」を対象とする。「千葉県内房」と「千葉県九十九里・外房」は、野島崎を境としているが、どちらかの区域に津波注意報等が発表されても対象とする。

※地震・津波に関する発表があった場合は、本部から帯同者に伝える。

【現場での対応】

震度2・3・4

- ① 帯同者自身で認識する、又は本部から帯同者へ連絡が入る。
- ② 帯同者は、コーチを通じて、各選手にトレーニングを一時中止させ、最寄りの高台への非難を指示する。
- ③ 帯同者は、「津波予報」（津波による災害が起こるおそれがない場合の予報）が発表された場合、コーチに状況を伝え、トレーニング再開の判断をチームに委ねる。
- ④ 「津波注意報」以上が発表された場合、トレーニングを中止させ、最寄りの高台にて待機継続し、状況を確認しつつ、最寄りの避難所、宿泊先等への移動を計画する。（移動手段等を本部と調整する。）

震度 5 弱以上

- ① 帯同者自身で認識する，又は本部から帯同者へ連絡が入る。
- ② 帯同者は，コーチを通じて，トレーニング中の選手等の身の安全の確保を第一優先とし，津波注意報の発令に関わらず，トレーニングを中止させ，選手等へ最寄りの高台への非難を指示する。
- ③ 帯同者は，津波注意報の発表状況を確認し，余震を警戒しながら，最寄りの避難所又は宿泊先等への移動を計画する。（移動手段等を本部と調整する。）
- ④ 本部では，安房管内市町の防災マップを参照し，避難所を決定するとともに，危機管理室等との情報交換を行い，事後の行動を決定する。

～津波災害時に対する帯同者の心構え～

トライアスロンは，常に移動を伴い，市域を越えたコース設定の可能性もあり得る。また，チームの安全を確保するため，帯同者が模範的に行動する必要がある。

1 帯同者自らの命を守る。

防災マップにて，管内市町の避難所の確認を行い，訓練帯同中に「ここで津波警報があった場合，どこに避難するか？」シミュレーションし，日頃から防災意識を高めておく。

2 チームの命を守る。

「迷ったら避難する。」を念頭におき，躊躇せず，冷静に避難誘導を行う必要がある。そのためにも日頃から防災意識を高めておく。

【トレーニング中の対応】

トレーニング中に注意報が発表された場合，本部から帯同者を經由して，コーチに伝える。警報等又は地震の発生もしくは津波発生が予想される場合は，トレーニングの中止を要請する。

3 交通安全，路上での安全確保

(1) 交通安全の周知

左側一列走行，並走の禁止，二段階右折など日本の道路を安全に走行するため，交通法規やマナーについて，周知する。

(2) コース上の事前巡回

コース上を事前に巡回し，路上の破損，飛砂の堆積について把握し，トレーニング前にコーチを通じて周知しておく。不審物，不審者等を発見した場合は，直ちに館山警察署に通報する。

(3) トレーニング時の巡回

バイク・ランでは，各選手に応じた練習が想定され，全員を監視することは不可能と考えられる。トレーニング中，主なコース（モデルコース）を巡回し監視する。

4 妨害行為の未然防止

【基本的な考え方】

市民は、地元でトップアスリートがトレーニングを行うのであれば、観たい、応援したいと思うのは当然である。また地元自治体としても、市民を挙げて応援してほしいと願っている。

一方で、昨今の世界情勢では、一般市民を巻き込んだテロが発生している。2020年東京オリンピック・パラリンピックによる訪日外国人が増える中、すべての外国人が純粋な想いである保証はない。また、日本人であっても同様である。

選手等は、「日本は治安が良い」と信じて来日しており、大会前であれば、集中とリラックスを求めているため、「安全安心」が前提となる。責任ある受入れ団体としては、この期待に応え、選手等の安全確保を第一優先すべきである。

このため、妨害行為等を未然に防ぐため、スケジュールやトレーニングコースの事前発表は行わない。市民との接点は、交流会で対応する。

(1) 報道対応

キャンプ期間中の取材も想定されるが、時間や場所を限定して行う。

(2) 開示請求の対応

情報公開制度に基づく開示請求があった場合は、開示となる日（2020年9月6日東京パラ閉会日）を明らかにした上で、詳細部分（トレーニングスケジュール、トレーニングコース、宿泊先情報、これらが推測できる内容は、館山市情報公開条例第6条第4号（公共の安全等に関する情報）該当とする。）は非開示とする。【受入自治体としての対応】

(3) 選手等のSNS

選手等の危機管理意識にもよるが、選手等がSNSで、館山市でのトレーニング風景等を公表する可能性が高い。実際、オランダ選手のキャンプ地からのSNSによる発信は多いが、これらは、館山市の魅力発信にもつながるため、これを妨げない。選手等の発信は、館山市の魅力発信にもつながる。【事前キャンプをする側の対応】

※2019年の事前キャンプでは、トレーニング内容は前日にコーチから示されたため、事前の発表はできないと考えられる。

5 事故・怪我の発生時対応

事故発生



- ① 館山警察署（0470-23-0110）へ連絡。
必要に応じて、安房消防（0470-23-0119）、
安房地域医療センター（0470-23-5111）に
連絡，搬送
- ② 本部に連絡

怪我の発生（自損事故）



- ① 救急車の手配の要否の確認
（必要に応じて、安房消防，安房地域医療センターに連絡，搬送）
- ② 本部に連絡

※事故，怪我が発生した場合，再発防止について，コーチを含めて協議し，翌日のトレーニングから活かす。

※ 医療行為の留意点

飲み薬はもちろん塗り薬，張り薬もドーピングにふれる可能性があることから，安房地域医療センターにおいては，薬を処方する場合，必ずチームドクターと十分協議の上，処方する。

トライアスロンコーチ ○○○○氏 電話○○○-○○○○-○○○○

6 緊急連絡網

館山市，チーム等との連絡網は，下記のとおりとする。

オランダ事前キャンプにおける緊急連絡網

